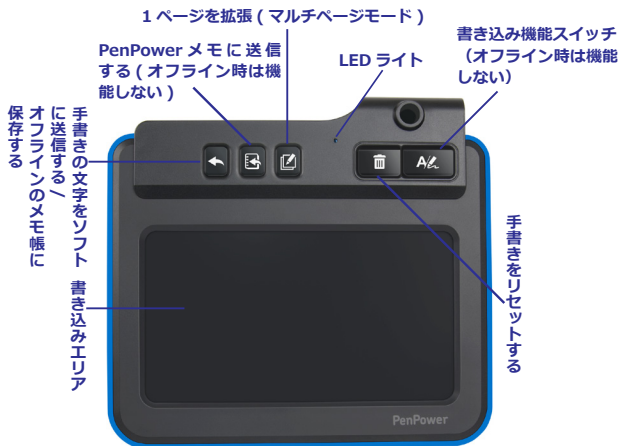


# Write2Go Anywhere を了解する

## ◎ ノートパットの表



## ◎ メモ帳の裏




【Write2Go Anywhere】は先進の電子ペーパー表示技術により、パネルに瞬時に書き込みが可能になります。

リセットボタンをクリックすると、手書きをリセットしながらパッドのLEDブルーライトライトが点滅し、書き込みエリアの電子ペーパーも点滅します。完全消去には約1.5秒かかりますので、消去動作が完了してから書き込みを行ってください。

**注：この間、手書きの文字は記録されません。**

電子ペーパーのリセット機能は消費電力が必要で、基板自体に充電機能がないため、使用前に単4電池2本を取り付けてください。それはリセット機能を5万回使うことができます。

また、Write2Go Anywhereにはメモリも内蔵されているので、オフライン時でもメモを保存することができます。 ノートパッド背面の電源スイッチをONにすると、オフラインでノートの書き込みやリセットができ、書き込み後にパッドの[送信]ボタンを押すと、メモリに保存することができます。最大で約400ノートを保存できます。

**ヒント：オフラインの場合、何もしないで30秒以上になると、節電のためにスタンバイモードに入ります。使いたいときに書き込みエリアをタップして復帰します。**

## 使用開始

**ご注意：本製品では手書き認識機能がありません。**

以下の説明と操作は、Windowsプラットフォームをベースにしています。

### ◎ Write2Go Anywhereのダウンロード及びインストール

1. Webブラウザを開いて <http://dl.penpower.net/w2ga> にリンクしてください。お使いのシステムプラットフォームに応じて、WindowsまたはMacのソフトウェアをダウンロードしてください。
2. ダウンロード後、ファイルをダブルクリックして実行し、使用する [インストール言語] を選択し、画面の指示に従って Write2Go Anywhereをインストールします。
3. インストール後はパソコンを再起動してください。
4. そして、パソコンのUSBポートにノートパットのUSBケーブルを差し込んでください。その際、ノートパットの青いLEDライトが常に点灯します。
5. オフラインで使いたい場合は、ノートパットの背面にあるスイッチをオンにし、使わないときは忘れずにオフにしてください。

## ◎ LEDライト対照表

接続時のライト	
状態	ライト
起動成功	ブルーライトが常に点灯している。
保存 / 1 ページを拡張	ブルーライトは消灯しており、保存後には常に点灯している。
送信 / 消去	ブルーライトは消灯しており、消去後には常に点灯している。

オフライン時のライト	
状態	ライト
起動成功	ブルーライトが常に点灯している。

保存 /1 ページを追加	ブルーライトは消灯しており、保存後には常に点灯している。
リセット	ブルーライトは消灯しており、消去後には常にが点灯している。
弱電	赤いライトが点滅している。
スタンバイ / 節電モード	ブルーライトは 30 秒ほど点灯したまま、その後消灯する。
ストレージ容量がほぼ満杯	赤いランプは 10 秒間点灯したままです。

## ◎ ソフトウェアの起動する

- まず、[スタート]/[すべてのプログラム]/[Write2Go Anywhere]/[Write2Go Anywhere]を実行してソフトを起動します。

**ヒント：メモ帳がコンピューターに接続されると、Write2GoAnywhereソフトウェアが自動的に実行されて開きます。**

- 初めて筆跡記事王を使用するときは、画面上の手書きの表示がずれないように、画面の指示に従って手書きの校正を行ってください。



3. 校正が終わると、画面上に筆記具が表示されます。
4. Write2Go Anywhereは抵抗ガラス技術と結合した電子ペーパーを使用し、コンピュータが手書きを正しく受け取るためには少し圧力をかける必要がありますので、ノートパットの校正が終了した後、筆記具を利用して手書きの強さをテストする必要があります。手書きの文字が出てきますので、ノートパットに筆記具で書いてください。
5. 手書きは筆記具をに表示されます。
6. 筆跡が途切れていると感じたら、それは手書きの強さが小さすぎるといことです。筆記具の下にある[クリア]ボタンをクリックし、筆跡をクリアにしてから、少し力を入れて書き直してみてください。
7. 1回目でも筆跡が残っている場合は、少し力を抜いて書き直してください。この筆記具を使って、自分に最適な手書きの強さを確認します。

**注意事項：各ストロークのストロークは、ストロークが解除された後に表示されま  
す。**



8. テスト終了後、Write2Go Anywhereの[筆記メモ]画面が表示されます。







 : 手書きを送信する。


 : 署名機能。

 : 設定。

## ◎ メモを開始

1. この時点から何でも保存することができます。[アプリケーションへの送信]機能では、Microsoft Word文書など、手書きを保存したい文書を開き、送信したい場所にカーソルを合わせてクリックすると、書き込みが開始されます。
2. 書いているときは、ノートパッドに手書きの文字だけが表示されます。手書きの文字はいつでも書き直すことができ、ノートパッドの「クリア」 ボタンをクリックして書き直すこともできます。書き終わったら、ノートパッドにある「手書きをソフトに送信」 ボタンをクリックすると、文書に手書きが表示されます。
3. 1ページで書き足りない場合は、ノートパッドにある[1ページを拡張] ボタンを押すと、画面が保存されてクリアされ、次のページへと続きを書くことができます。そして、ソフトウェアは、同じペーパーの内容を結合します。
4. 今後に使用するためにこのメモを保存するには、書き終わったら、ノートパッドの真ん中にある [Penpowerメモに送信]  ボタンを押すと、[Penpowerメモ] に送信して保存され、デ

スクトップにピン留めされます（設定でピン留めを解除できます）。


5. オフラインモードで使用している場合は、書き終わったら、ノートパットの左端にある「手書きをソフトに送信」 ボタンを押してメモリに保存します。そして、「Penpowerメモ」ソフトを通してパソコンに保存されます。
6. オフラインメモを読み取るには、[Penpowerメモ] ソフトを開き、パッドをパソコンに接続すると、オフラインメモをダウンロードするかどうかを聞かれ、ダウンロード後に [Penpowerメモ] ソフトに表示されます。

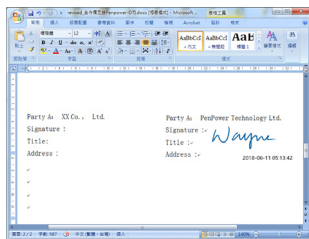
**注意事項：** [Penpowerメモ] については、次項を参考にしてください。

## ◎ 署名機能


1. [署名モード] では、署名したい文書、例えば Microsoft Word などを開き、署名したい場所にカーソルをクリックすると署名が開始されます。





2. 署名後、パッド上の [送信]  ボタンをクリックして、対象のソフトウェアに署名を送信します。

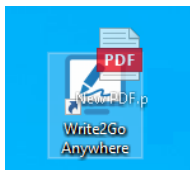


## PDF署名の注意事項

手書き画像を挿入したい場合や、PDFファイルに署名をしたい場合は、ソフトの  をクリックして必要なPDFファイルを開き、署名を開始してください。


署名後、ボードの「送信」  ボタンをクリックすると、PDFファイルに署名を送信できます。マウスで署名の位置や大きさを変更して、最後に左上の  をクリックしてPDFでの署名を保存できます。

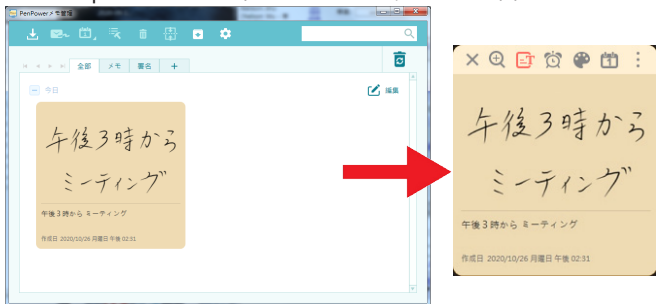
**コツ** : PDFファイルを直接Write2Go Anywhereデスクトップのショートカットにドラッグしてドロップすると、PDF署名機能が直接開かれます。Macでも同じくタスクバーにドラッグし、Write2Go Anywhereのショートカットでドロップされます。






## メモ管理

1. [Penpowerメモ] は保存したすべてのメモを管理するためのソフトウェアです。メモを書き終わったらパッドにある [Penpowerメモに送信]  ボタンを押すと、手書きを Penpowerメモに送信し、デスクトップにピン留めできます。



2. Write2Go Anywhereのメモリにオフラインメモがある場合、パソコンに接続するとPenPowerメモがオフラインメモをダウンロードするかどうかを聞きます。ダウンロードが完了すると、メモリのオフラインメモは消去されます。
3. PenPowerメモは、手書きを分類して追加したり、ノートをダブルクリックして拡大表示したりすることができます。手書きを消去するには、消去したい項目をクリックして、上のツールバーの  をクリックしてください。
4. さらに、上のツールバーの機能ボタンを使って、手書きをメールで他の人に送り、Outlook/Googleカレンダーにメモのリマインダーを追加することができます。カレンダーに送られてきたメモには、右下にアイコンが表示されて区別されます。

カレンダーへエクスポート

タイトル

開始時間: 2020/10/26 (週一) 午後 10:20

終了時間: 2020/10/26 (週一) 午後 10:50

終日  繰り返し

場所

出席者を招待

通知

説明

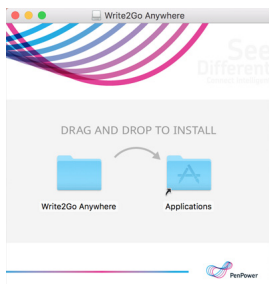
**メモをエクスポートして  
カレンダーイベントを作成する**

- 保存したメモを自動的に判別してくれるので、今後はキーワードで検索できるようになります。識別が間違っている場合は、メモ上部にある をクリックして手動で修正してください。デフォルトの認識言語はシステム言語です。他の言語を追加する場合は、設定の指示に従って調整してください。
- 加えて、手動でメモを結合することも可能です。右上の「編集」 をクリックし、結合したいメモを選択し、ツールバーの をクリックして結合できます。

## Macでの操作


Write2Go AnywhereはMac OS Xでも利用可能です。Mac用のソフトウェアをダウンロードするには、ウェブブラウザを開いて <http://dl.penpower.net/w2ga> にリンクしてください。

ダウンロード後、dmgファイルをダブルクリックしてインストールを行ってください。 ファイルを開いたら、プログラムをアプリケーションフォルダにドラッグしてドロップし、インストールを完了させてください。



Write2Go Anywhere ソフトをインストールしたら、メイン機能一覧の [次へ] / [アプリケーション] / [Write2Go Anywhere] をクリックして実行してください。

MacでのWrite2Go Anywhereの機能や操作はWindowsとほぼ同じですので、Write2Go Anywhereソフトを起動した後、指示に従って [ノートパット校正] と [筆記具] を実行してから使用を始められます。

ソフトウェアの設定などを起動するには、メイン機能の一  を右クリックして「もっと見る」を選択するとメニューが表示されます。